

フィールドワーク特集 その1

今回のフィールドワークでの見学・体験の様子を紹介します。

はなび・アム

職員の方に案内してもらい、館内を見学しました。花火に関する様々な資料を見ながら、職員の方の説明を真剣に聞き、メモをとっていました。4階にあるシアターでは、去年の花火大会のダイジェスト映像や、花火師の裏側に迫る映像を見て、花火への関心が高まったようです。進んで職員に質問する生徒がたくさん見られ、課題の解決につながったことと思います。



響屋大曲煙火

普段目にするののできない花火作りの作業の様子を見せていただいたり、花火玉を手を持たせてもらったりと興味深く、充実した時間となりました。熱心に写真を撮ったり、メモを取る姿がたくさん見られました。響屋さんではよい花火を作ることが観光客を喜ばせるためにできると考え、花火を作っているそうです。県外出身者も職人として受け入れており、それが移住者を増やすことにもつながっているのかもというお話も聞かせていただきました。



観光情報センター

大曲の駅構内にある観光情報センターを訪れ、商品や観光に関する掲示物を見学させていただきました。質問事項にも詳しく答えていただき、一人一人、課題の解決に向けて有意義な見学をすることができました。翻訳機能付きのタブレットを操作させてもらったり、防犯カメラがある部屋に入れてもらったりとなかなかできない体験もさせていただきました、楽しそうに活動していました。



古四王神社

古四王神社を管理している、富樫武彦さんから説明をしていただき、生徒たちは興味深くお話を聞いていました。古四王神社は飛騨の大工が作ったもので、「和（日本）・唐（中国）・天（天竺）」の三つの様式が渾然一体となった、非常に珍しい作りで、昔、戦いの際に自分たちの陣地を示すために建てられたものだそうです。現在は地域の人たちがお金を出し、祭りなどの催しを行うなどして、神社のことを知ってもらったり、守ったりする活動を行っています。中学生にもぜひ来てほしいとのことでした。



しゅしゅえっとまるしゅ

商品の試食をさせてもらったり，バックヤードを見せてもらったりしながら，店舗の特徴や取り組みについてのお話を聞かせていただきました。しゅしゅえっとまるしゅは地域の農業従事者と協力しながらやっており，最近では出品してくれる農家も増えてきているそうです（中には農ガールも）。店長さんの説明を聞く中で，購買意欲が高まったようでした。



J A あきたおぼこ農業協同組合

J Aでは営農指導から販売までの事業の他，介護や信用事業も行っていて地域社会への貢献を目指しているそうです。園芸振興拠点センターでは，野菜・花き集出荷，土壌分析，トマト選果などが行われている現場を見せていただきました。出荷物によって保管の仕方が違うことを興味をもって聞いていました。おぼこライスターミナルでの見学では，自動低温ラック式保管装置を見せていただき，その規模の大きさに驚いていました。



高関上郷農場

主に米といぶりがこの生産，販売を行っている高関上郷農場を訪れ，いぶりがこの包装作業場を見学，説明をうかがいました。生徒の質問一つ一つに丁寧に答えていただき，いぶりがこ生産の苦労や販売，流通の工夫など多くのことを学ぶことができました。最後にいぶりがこのお土産もいただきました。



東北農業研究センター大仙研究拠点

センターの中を見学したり，炎天下の中，様々な研究のために植えられている稲を見て歩いたりしました。跳んでくるイナゴにおびえながらも，約1.5kmの道のりを元気に歩きました。ここではいろいろな品種を配合し，病気に強い稲，風に倒れにくい稲（対倒伏性），冷害に強い稲などを研究しているそうです。



大仙市魅力体験住宅（youkoso）

移住定住を促進する魅力体験住宅を訪れ，まちづくり課の方からお話をうかがいました。大仙で一生暮らしていきたい「まちづくり」を目指して市役所の各課と連携しながら活動しているそうです。生徒からは今のところ定住するかどうかは分からないが，「住むのであれば秋田」と考えているという声も聞かれ，自分の課題に迫ることができる発見がたくさんあったようです。

